

やくばしょくいん しばたまち しょう ちゅうがくせい みな
役場職員から柴田町の小・中学生の皆さんへ



せいさくかちょう ふじわら まさし
まちづくり政策課長 藤原 政志

あなたは、どんな毎日まいにちを過ごすごしていますか。笑顔えがで暮おらせていますか。

去年きょねんと同じようにこんなに自然しぜんや動物どうぶつが生き生きと輝かがやいているのに、新型しんがたコロナウイルスによって人々の生活かがやは変わしんがりました。学校がっこうの休業きゅうぎょうやイベントいべんとの中止ちゅうしが続つづいています。約束事やくそくごとの多い不自由おおな暮らしふじゆうは、もしかすると皆さんみなや私わたしにとって、意味いみのあることかもしれません。大切たいせつなことに気づきかせてくれている時間じかんなのかもしれません。

「ピンチがチャンス」

好きな言葉ことばのひとつです。ピンチの時ときこそ、変かえていくチャンスチャンス。変かわるチャンスチャンス。今までの暮らし方かたを変かえるのは悪いことではないと思おもいます。皆さんは良く変かえていく、工夫くふうしていく力ちからを持もっています。私も、今まででできなかった家中うちゅうの片づけ、庭にわの手入れ、買かって忘れ去わすられていた本の読書ほんどくしょ、やってみたかったことへのチャレンジチャレンジ。少し「心が豊ゆたか」になっきた気がしました。考かんがえてみましょう。できそうなことをやってみましょう。ちょっと勇気ゆうきを出だして、何なにかにチャレンジチャレンジしてみましょう。今だからこそ自分じぶんにとっての宝物たからものを、形かたちがあるものないものを見つみけることができるかもしれません。

最近さいきん、悲かなしくなるニュースを見みます。感染かんせんした人や、その家族かぞくを差別さべつしたり他の県けんのナンバーの車くるまを見つみけて、罵声ののしを浴あびせたり、嫌いやがらせをかぞしたり。数え切かぞれないほどの詐欺まぎやデマでま。。。。ほんかなとに悲かなしくなります。

世界中せかいじゅうの人たちみなでこの困難こんなんを乗り越こえるために絶対ぜったいに忘わすれてはいけないこと、それは「優やさしさと思おもいやり」。一人一人ひとりひとりのすべての言葉ことばと行動こうどうに優やさしさと思おもいやりがあれば、私わたしたちは負まけないはずです。

しばらくして学校がっこうが始はじまっても、まだまだ普通ふつうの生活せいかつには戻もどれないかもしれません。コロナの勢いきおいが増ましてまた、いろいろなことできなくななったり、何かを失うしなってしまうかもしれませんが「優やさしさと思おもいやり」までコロナコロナに奪うばわれたくはありません。

私わたしは役場やくばのみんなと、皆さんみなが友達ともだちと遊あそんだり、勉強べんきょうしたりできるようにこれかからも頑がん張ばります。応おう援えんします。

皆さんもコロナコロナなんかに負まけないで工夫くふうしながら楽たのしく、「優やさしさと思おもいやり」で乗り越のえてください。そして、しばらく頑がん張ばれば、友達ともだちや先生せんせいと今いまより何倍なんばいも楽たのしい時間じかんが待まっているはずです。

じかい みと ひろゆき こ かていかちょう
次回は、水戸 浩幸 子ども家庭課長です。